

第13回国際宇宙大学講演会 報告書

航空宇宙工学専攻 滝田研究室 D1
国際宇宙大学派遣 RA
松原慶典

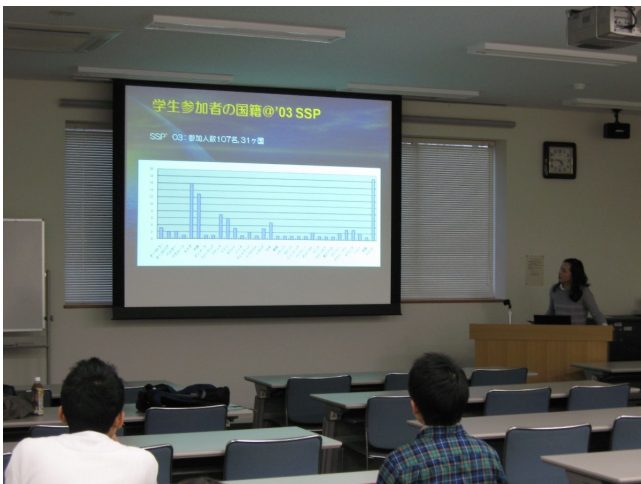
2010年1月29日、東北大学片平キャンパスの流体科学研究所 COE 棟3階セミナー室において、第13回国際宇宙大学講演会を開催した。

まず、特別講演として本学航空宇宙工学専攻助教の安孫子聡子氏に「国際宇宙大学への参加から広がった研究活動」と題してご講演頂いた。安孫子氏は2003年に国際宇宙大学（ISU）サマーセッションプログラムに参加し、それ以降も TA や非常勤講師として ISU の教育活動に携わっておられる。最初に ISU の概要をたくさんの写真や動画を使って詳細にかつ魅力たっぷりに説明していただいた。ISU への生徒としての参加経験と TA・非常勤講師としての参加経験がバックグラウンドにあるため、非常に分かりやすく説得力ある説明で、講演会参加者にも ISU をよく理解していただけたと思う。また、安孫子氏は本学航空宇宙工学専攻で博士号取得後はドイツ航空宇宙局（DLR）で博士研究員としてロボティクスに関する研究を続けてこられた。DLR での研究内容を動画を交えて紹介していただいた。海外の宇宙機関で研究をされた方の経験を聞くというのは非常に貴重な機会であった。最後に、1990 年以降東北大学からの ISU 参加者の進路を示していただき、宇宙関係・アカデミックな世界に進む人が多いことが分かった。安孫子氏のお話からも分かるように、ISU での経験が進路選択やその後の人生に与える影響は非常に大きいと言える。

2つ目の講演として、本 GCOE プログラムの国際宇宙大学派遣事業により Space Studies Program 2009 に参加させていただいた私とその参加報告を行った。安孫子氏に ISU の概要について詳しく話していただいたので、私は体験談を重点に話した。

講演の最後には会場から質問を受け付け、ISU の選考や参加費の工面、本 GCOE プログラムからの支援制度（国際宇宙大学派遣 RA）、奨学金などについての質問があった。

今回は多くの方に参加いただいたが、国際宇宙大学派遣 RA の応募締切当日の開催となってしまう、本プログラムによる派遣事業の宣伝とすることが出来なかった。これを反省点として、次年度は応募締切前に開催し、やる気のある学生に ISU を紹介したい。また、1990 年以降ほぼ毎年 ISU に学生が参加しているという東北大学のすばらしい伝統が途絶えないように、このような説明会を通して ISU の魅力をこれからも発信していくべきであると考えている。



安孫子氏による講演



松原による講演